

構築会兵庫支部 平成13年度見学会・総会の概要

平成13年度は、幹事長の負担を軽減してやろうという役員一同の暖かい配慮もあって、見学会・総会・懇親会を10月の平日午後半日で済ませました。見学先は、神戸東部新都心(HAT神戸)に建設中の兵庫県立美術館「芸術の館」です。

安藤忠雄氏設計の超近代的かつ機能的な建物は、免震構造など美術品を保管するための最新の技術、自由に仕切れる展示ルーム、どこから展示品を入れるか分からない陳列ケース、凝った螺旋階段、EPS工法による盛土など、建物自体がショーケースという感じでした。3時間歩きっぱなしだったのに、すぐに時間が経ってしまいましたが、ちょっと疲れました。供用前のため、無用のキズや汚れを付けることがないように、全員が上履きを持参しての参加です。

供用開始前の見学といえば、施主や施工業者さんに多大なご無理をお願いするのが付き物です。今回は、兵庫県県土整備部の泉さんと松原さん、大林組の秋川さんをはじめとする現場の方々に過分のお世話になりました。ヘルメットの用意や資料の作成、また電気設備の取り計らいなど、きめ細やかなお心遣いをいただきました。これらの方々はもちろん建築や土木の専門家なので、当方のニーズにぴったりの案内をしてくださいました。

総会は42名の参加者のもと、この美術館の中のホールを一時的にお借りして開催し、総会終了後は歩き疲れの喉の渇きを潤すべく、近くのレストランで懇親会を始めました。ご来賓として、松尾純構築会会長、松井保土木工学専攻長、橘英三郎建築工学専攻長も駆け付けてくださり、賑やかに懇親いたしました。例年は座敷での会席料理でしたが、今回は趣向を変えての立食形式で、料理もまずまずでした。ここまで幹事長としては完璧な運営だと思っていたのに、失敗に気がきました。出席者の名札を準備するのを忘れていたのです。皆さん、少しは顔馴染みですから、そんなに支障はないようでしたが、やはり懇親会に名札は必需品で、次回からは気と付けるようにと、ある幹事の方からご注意もいただいた次第です。

支部の活動報告は以上ですが、平成14年度はこういう節約・省エネ型のイベントは許してもらえないと幹事長は腹をくくっております。どんな目にあつたか、いや、どんな活動をしたか、来年の兵庫支部たよりを楽しみにしていただきますよう。